

**【総評】**

受験生の皆さん本当にお疲れ様でした。自分の持っている力を十分に発揮できたでしょうか。思うように得点の伸びなかった人、意外と得点できた人、普段なら解ける問題をミスしてしまった人など、いろいろな人がいることでしょう。教科の得意・不得意などにより達成感も人それぞれだと思いますが、まずは全力を尽くした皆さんに拍手を送りたいと思います。高校入試は、中学生の皆さんにとって人生の節目であることに間違いありませんが、最も重要なのは、この経験を今後の長い人生の中でどのように活かしていくかということです。あいにくの天気の中での今回の経験が、皆さんを強くし、今後の人生の糧となることを祈っています。また、保護者の方々も、受験したお子さん同様に（もしくはそれ以上に）不安を抱きながら過ごされていたことと思います。本当にお疲れ様でした。

以下、今年の入試について簡単にコメントいたします。

**【難易度】**

教科別に見ると、数学と社会が昨年に比べてやや易しく、英語がやや難しくなりました。5教科の合計としては、昨年に比べてやや易しいのではないかと思います。

**【出題形式・内容】**

形式的には昨年から大きな変更はなく、落ち着いて取り組むことができたものと思います。どの教科も文章や資料の読み取りを重視する傾向が年々強くなっており、読解力・表現力重視の傾向は今後も続きそうです。

**【国語】**

- 難易度…第四問・第六問がやや難しかったものの、大半が平易な問題でした。平均点は、昨年と同程度の、60点前後だと予想されます（昨年は58.6点）。
- 構成…大問構成や総問題数、配点は変化がありませんでした。
- 第一問（漢字・俳句・行書）…問二は、俳句の表現技法を問う問題でしたが、易しい出題でした。問三は、行書の特徴について問われました。行書に関する問題については、4年連続での出題となりました。
- 第二問（実用的文章）…実用的文章は、昨年度同様、「話すこと」「聞くこと」の単元を意識した出題で、話し合いの流れをもとに、「発言の意図」を正確に把握する必要がありました。
- 第三問（文学的文章）…「私」の祖母の発言部分が長いところが多くあり、やや読みにくく感じた生徒もいたのではないのでしょうか。ただ、四択問題（問一・問三(二)・問五)は選択肢を絞りやすかったため、易しい出題だったと考えます。主題となる記述問題（問四）は、例年と同様の難易度だと思われます。
- 第四問（説明的文章）…素材文の字数は昨年より増加しました。また、文章の内容もややとらえづらかったと思われます。問二の書き抜き問題、問三(一)と問四の記述問題については、解答の手がかりとなる部分が傍線部からやや離れたところにあったため、解答に時間がかかり、難しかったと考えます。
- 第五問（漢詩）…注釈が多くついていたため、内容は読み取りやすかったと思われます。問題についても平易なものが多く、易しい出題となりました。
- 第六問（作文）…「運動・スポーツ実施率と実施希望率」のグラフから読み取ったことについて、自分の考えを述べる問題でした。グラフの特徴は一目では分かりにくく、グラフのどの部分に着目すればよいか悩んだ生徒が多かったと思われます。

## 【数学】

- 難易度…第一問、第二問が例年に比べ平易で、第四問は昨年よりやや難しい出題となりました。平均点は第一問と第二問が得点しやすかった分、昨年と比べてやや高くなると予想します。
- 構成・形式…昨年から構成の大きな変化は見られませんでした。
- 第一問…小問集合。各単元の基礎・基本を重視した出題でした。8は三平方の定理と中点連結定理の利用で、第一問での出題は珍しい。
- 第二問…小問集合。標準～中難度のオーソドックスな問題が並び、普段の力を発揮しやすい内容でした。この大問を素早く確実に解くことができたかが、全体の出来を左右しそうです。2は、正多角形の内角を正しく求め、平行線の錯角を利用すればよいのですが、ケアレスミスが多そうです。3(2)はy座標をaの式で表し、傾きをもとに方程式をつくる、定番の内容。4は簡単な規則にもとづいて2次方程式をつくる問題で、把握しやすい内容でした。
- 第三問…文字式・方程式と関数からの出題。例年同様、文章中から必要な情報を読み取る力、グラフに整理して考える力が求められました。1の方程式は、2量の関係を正しく立式することに苦労した人が多いかもしれません。2の関数は、文章から変化の割合などの情報を正しく読み取ることさえできれば、関数自体は比較的シンプルで得点しやすかったはずで。
- 第四問…平面図形からの出題ですが、昨年と比べて全体に難易度は高め。証明は珍しく三段論法(A = B、B=CならばA = Cの形)を利用するもので、3、4も例年に比べ手数が多い印象です。限られた時間を「得点しなければならぬ問題」にしっかり配分して得点できたでしょうか。

## 【社会】

- 難易度…歴史の記号問題の選択肢が昨年度より易しくなり、全体として昨年よりやや易しくなりました。平均点は昨年(56.1点)よりやや高くなると予想します。
- 構成・形式…昨年同様、大問数は6題、全体の小問数は30問でした。配点は小問1のみ15点で、ほかの大問はすべて17点でした。また、大問2～大問6の最後の問題は、例年通り複数の資料を利用した記述問題となっており、資料を読み取り、文章にまとめる力が求められます。
- 第一問(歴史・公民)…国際連合の役割と取り組みをテーマとして、歴史分野・公民分野から標準的な内容が出題されました。また、昨年に続き、第一問でも年代並べかえ問題が出題されました。
- 第二問(地理)…オセアニア州に関する出題でした。雨温図の問題でパプアニューギニアが出題されるのは珍しいですが、資料Aから熱帯の気候であることがわかるので、確実に得点したいところです。
- 第三問(歴史)…古代から近代までの日本の政治体制に関する出題でした。3の年代並べかえ問題は、時期を判別するポイントとなる部分に分かりやすかったので、比較的並べかえやすかったのではないのでしょうか。
- 第四問(公民)…国民主権と政治参加に関する出題で、基本的な内容が中心でした。4の記述問題は、若者の政治参加に関するもので、資料も分かりやすく解答を作成しやすい問題でした。
- 第五問(地理)…九州地方に関する出題でした。2の資料読み取り問題は計算が必要な選択肢がなく、資料と選択肢を照らし合わせれば確実に得点できる問題でした。
- 第六問(歴史・公民)…日本の労働環境の歴史に関する歴史と公民の融合問題でした。5の記述問題は、各資料から読み取れることをふまえて、中小企業が働き方改革に取り組む目的をうまくまとめる力が求められました。

## 【英語】

- 難易度…第一問のリスニング問題や第二問の小問集合は基本的な内容から出題されました。第三問や第四問は、日本語や英語で答える問題で、点数を積み上げられたかどうかポイントになりそうです。第五問の英作文は例年通りの出題形式となりました。平均点は50点前後と予想します。
- 構成…大問数は5題、全体の小問数は30問でした。資料問題は、昨年まで第二問にありましたが、第三問へ移動しました。
- 第一問(リスニング)…例年同様の出題形式でした。問1と問2は基本的な問題でした。問3は選択肢で迷った方もいたかもしれません。問4は助動詞 can を使って答える問題でした。
- 第二問(小問集合)…例年同様の出題形式でした。全体的に取り組みやすい問題が多く、確実に得点したいところです。
- 第三問(資料・長文読解)…例年同様の出題形式でした。1の資料問題は比較的読み取りやすいものでした。2の長文読解は全体的に平易な英単語と英文が使われていました。(5)は新傾向の問題で、本文の内容をふまえて空欄に入る4語以上の英語を書く問題でした。昨年までの書き抜きの問題からの変更となり、戸惑った受験生も多かったと考えられます。
- 第四問(長文読解)…「英語で書かれた記事」を読む問題でした。3(要点のまとめ)や6(メモのまとめ)は新傾向の出題形式となり、読解力が必要となりました。3や6の空欄補充の問題では、受験生に差が出たのではないかと考えられます。
- 第五問(英作文)…「Happy Birthday! と伝えるのに、電話をかけるべきか、メールを送るべきか」を題材とする問題でした。昨年同様の形式で、思考力と表現力を試す問題となりました。難しく考えすぎず、質問に対して適切に答えられたかどうかポイントとなりました。

## 【理科】

- 難易度…一部、計算問題や思考力が求められる問題がありますが、全体として易しめのとりかかりやすい問題が多くありました。平均点は昨年と同程度になると思われます。
- 構成…昨年と同じ構成で、全体の小問数は32問、配点は第一問が36点、第二問から第五問は各16点でした。完全解答は5問、記述は2問、作図は1問でした。
- 第一問(小問集合)…物質の姿と状態変化(化学)、音の世界(物理)、刺激と反応(生物)、火をふく大地(地学)からの出題でした。今年も各分野から1つの素材に対して3問ずつ出題されていました。大半が基本的な内容ですので、時間をかけることなく、確実に解答を進めたいところでした。
- 第二問(物理・運動とエネルギー)…力学台車が衝突したときのエネルギーと仕事に関する問題でした。3は4と5を解答する上でのヒントとなっていました。5は、表でものさしの移動距離が「cm」となっていることに注意して計算する必要がありました。
- 第三問(地学・地球と宇宙)…月の見え方と月食に関する出題でした。基本的な知識を問う問題が多くありました。1(2)は、望遠鏡で見ているので、肉眼で見る向きと逆向きになっていることに注意が必要でした。5の記述問題は、「理由」について書きにくかったと思います。正答要件がどのように設定されたかが気になるところです。
- 第四問(生物・植物の体のはたらき)…植物の種子が行う呼吸に関する出題でした。極端に難しい問題はありませんでしたが、文章量が多く読解に時間がかかったと思われます。また、それぞれの袋や装置の結果を比較することで確かめられることは何かを考えながら思考する必要がありました。3(1)の記述問題は、光合成と呼吸の際の気体の出入りに関する基本的な知識をもとに、適切に表現できるかが問われました。
- 第五問(化学・化学変化)…マグネシウムの酸化に関する出題でした。1～4は基本的な内容で、十分に対策をしていれば容易に解答できたと思います。5の計算問題は、化合物Xの質量はマグネシウムとの比で与えられており、酸化マグネシウムの質量5gをそのまま用いることができず、思考力と計算力が必要とされる問題でした。